



車と違って風雨を直接受けるから、常に緊張してはなりません。でも、その緊張感があったからこそ旅を続けることができました

「小さいころから世界中を回ってみたいという憧れがありました」と、よく通る声で話すのは、上広瀬在住の水島治さん。60歳を過ぎてから、たった一人でオーストラリア大陸を一周、2万6千798kmを91日間で走り、先月帰国したばかりです。その旅のきっかけは、「仕事で海外に行ったりするうちに、『いつかは自分の旅がしたい』という想いが強くなりました。子どもが好きなので、世界中の子ども達に会うために6大陸を走破したいと考えたんです。初挑戦の昨年は、ロシアからポルトガルまでユーラシア大陸を横断して、各国の学校巡りもしました」と話します。

二回めとなる今年の旅の目的の一つには、砂があります。市で開催している「シニア・コミュニケーション・カレッジ」のパソコン学科を修了した水島さんは、その成果を市内の小学校で子ども達に教えています。授業の中で今回の旅の計画を子ども達に話したときに、大陸の西部にあるグレートピクトリア砂漠の砂をお土産に持って帰る約束をしたのです。

「砂嵐で立ち往生したときや道に迷ってしまったときは、無事に砂を持ち帰ることはかり考えていました。子ども達との約束が、心のよりどころになっていたんです」と話します。また、3時間に1回位しか人に会わないような所でオートバイが故障したときに、修理を手伝ってくれた人の親切に助けられて無事に走り切れたそうです。さらに、今回の旅でとても印象深かったのは、

で答えてくれました。



挑戦するたびに感動を覚える これまで積み重ねてきた「経験」を生かし 体力と好奇心がある限り旅を続けたい

水島 治さん(オートバイで単独オーストラリア大陸を一周)



エアークラウドと変わった色に魅了されました

「旅を成功させるためには、健康・気力・経験・そして決断力が必要です。でも、きっかけさえあれば、だれにでも挑戦することは可能だと思います。かえって60代という我々の年代だからこそ、積み重ねてきた『人生の経験』を生かしてチャレンジできることだってあるんです。そして、『苦しいと思うこともあるけれど、『面白い』という気持ちがあるから上回るから旅を続けられるのです」

は、旅先で出会った日本の若者が、それぞれ目標に向かって頑張っていたこと。分野は違っても同じ『チャレンジャー』として、彼らからたくさん元気をもらいました」と外国を旅して肌で感じることによって、改めて日本という国、そして川や緑の豊かな狭山の素晴らしさを分けることができたと話します。

ものづくり 狭山人づくり の産業



暑さに負けない元気な小松菜です

中 新田で農業を営む石森さんは、強い^{ひざ}陽射しと暑さの中、青々とした小松菜を収穫します。野菜は、特に暑い7・8月の収穫がなかなか思うようにならないそうですが、5年ほど前に夏の暑い時期でも比較的育てやすい小松菜を始めてからは、1年を通して季節の野菜が収穫できるようになりました。

しかし、天候に左右されるのはどの野菜も同じ。「毎年同じ天候はあり得ませんから、同じことをしてはだめなんです」という言葉に、石森さんの野菜に対する苦勞とやりがいがかえります。そして、納得のいく野菜を出荷できたとき、最も満足感が得られるのだそうです。そんな農業の魅力を熱心に語る石森さん、農家の10代目として父親から野菜作りを学びました。それは今、息子さんへと引き継がれています。「そうは言っても息子だけでなく私にも毎日が勉強です」そう目を細めながら、自慢の小松菜を見つめました。(石森文雄さん/中新田・小松菜栽培農家)

くらしの自治体

本町二丁目自治会

小さな自治会も手を組んで

「自分たちのまちは、自分たちで守ろう」と今年も7月19日に、子神・本町一丁目・本町二丁目の3自治会共催でミニ防災訓練を行いました。入間川の中心地域は、戦前からの家屋が多く残る住宅密集地域で、一旦火災が発生すると、延焼の危険が大きいところです。小規模自治会も共同すれば防災訓練も可能です。地元消防団・消防署の指導で約60名の住民が参加して真剣に訓練を行いました。



みんな一斉に消火器の訓練

Hello ハロー 仲間たち

Vol 265

「煎茶倶楽部同好会」



私たち煎茶倶楽部同好会は、公民館事業から発足して今年で16年め。今は月に3回金曜日の午前中、10名の仲間と新狭山公民館で活動しています。煎茶道は、知識人のお茶文人茶^{じんてん}として江戸時代から始まったそうです。煎茶・玉露・晩茶だけでなく、桜・春蘭・しそを入れる香煎茶などさまざまな種類があり、それぞれに季節感と味わいが漂います。私たちは、そのお茶や作法に奥の深さを感じながらも、生活に身近な茶道として楽しく学んでいます。また、質素・勤勉努力を活動の信条に、新茶まつりや大茶会にも参加。日ごろの成果を多くの人に見てもらえることが、私たちの励みや目標になっています。

仲間とつくり出す明るく和気あいあいとした時間…この雰囲気だからこそ、みんなで長く活動を続けていけるのでしよう。今は、公民館の文化祭に向けて、力を合わせて、頑張っています。

問合せ

島崎日出子さんへ

☎952 7948